

1 ひとを育む

149億円 (対前年 +16億円)

- 人口減少を食い止めるため、さらなる少子化対策が必要 [合計特殊出生率1.52 (平成29年)]
- 児童生徒の情報活用能力の習得や、個人の状況に応じた学習支援が必要
- 全国規模のスポーツ大会・文化祭に向け、気運醸成や開催準備が必要

未来を拓く子供への重点投資、文化・スポーツのさらなる振興

<p>未来を拓く 子どもを育て る環境づくり</p>	<p>113.7億円 (対前年+3.1億円)</p> <p>増 幼児教育無償化の対象拡大 (+6.1億円)</p> <p>増 きのくにICT教育の本格実施 (+1.3億円)</p>	<ol style="list-style-type: none">1 保育料等の無償化、在宅育児支援 (P5)2 県独自のプログラミング教育を全ての学校で本格実施 (P6)3 ICTの活用等による不登校児童生徒への学習支援 (P7)
<p>みんなが 活躍できる 社会づくり</p>	<p>35.7億円 (対前年+12.8億円)</p> <p>増 ねんりんピック紀の国わかやま2019開催 (+11.0億円)</p> <p>増 わかやまスケートパーク(仮称)整備 (+0.5億円)</p>	<ol style="list-style-type: none">4 学び直しを希望する人への学習機会の提供 (P8)5 ねんりんピック開催、ワールドマスターズゲームズの開催準備 (P9)6 国文祭・芸文祭・総文祭の開催準備 (P10)

1 ひとを育む

◇新規・拡充
◇継続

・金額単位のないものは千円単位
・()内は昨年度当初予算額

未来を拓く子どもを育てる環境づくり

1. 子どもが心豊かにたくましく育つ環境づくり

- ◇保育料等の無償化・在宅育児支援 36.2億円 (30.1億円) P5
国制度の幼児教育無償化に加えて、多子世帯を対象とした保育料等の無償化や在宅育児世帯への支援などの取組を推進
- ◇子育て相談体制の強化 54,044 (43,168)
安心して子供を生み育てられるよう、身近な地域において子育て世代のニーズに対応したきめ細やかな支援を実施
- ◇不妊治療費の助成(こうのとりのサポート) 95,363 (121,038)
不妊に悩む夫婦を経済的、精神的に支援するため、不妊治療における医療費の助成や不妊専門相談を実施
- ◇女性や子育て世代が活躍できる社会づくり 6,601 (7,034)
「女性活躍企業同盟」「結婚・子育て応援企業同盟」のさらなる発展を図るとともに、働きやすい職場環境づくりに向けた取組を推進
- ◇多様なニーズに対応した子育て支援の充実 691,085 (671,835)
一時預かりや延長保育、放課後児童クラブ、ファミリー・サポート・センター事業など、子供・保護者のおかれている環境に応じた子育て支援を促進
- ◇待機児童解消対策 330,193 (590,181)
年度途中の待機児童を解消するため、認定こども園等の整備支援や、仕事と育児の両立支援など、保育・育児環境の整備を促進
- ◇子供の貧困対策の推進 115,211 (96,334)
子供の将来が生まれ育った環境で左右されないよう、「貧困の世代間連鎖を断ち切る」取組を推進
- ◇きのくにコミュニティスクール推進 30,897 (36,085)
学校や地域が抱える様々な課題を解決するため、学校と地域が連携・協働した取組を県内すべての公立学校で推進

2. 子どもたち一人一人が志高く未来を創り出す力を育む教育の推進

- ◇きのくにICT教育 181,248 (54,231) P6
新学習指導要領に先行し、県独自のカリキュラムによるプログラミング教育を県内すべての学校で実施
- ◇ICTを活用した不登校児童生徒への学習支援 42,615 (-) P7
不登校児童生徒の学校復帰と進路選択の基盤となる学力が身につくよう、ICTを活用した学習支援を実施
- ◇不登校等総合対策 344,581 (326,164)
不登校の解消に向け、未然防止、早期発見・早期対応、学校復帰までの各段階に応じた取組を総合的に実施
- ◇きのくに学力向上総合戦略 32,127 (32,709)
児童生徒の学力向上のため、授業改善や補充学習等を通して指導を充実するとともに、優れた実践力をもつ退職教員等をアドバイザーとして派遣
- ◇ふるさと教育・道徳教育の推進 11,857 (14,897)
副読本として「わかやま何でも帳」を活用したふるさと教育、県独自の道徳教科書「心のとびら」「希望へのかけはし」を活用した道徳教育を推進
- ◇依存症予防教育 5,954 (-) P54
「ギャンブル」「スマホ」「喫煙・飲酒・薬物」などに対する依存症を予防するため、児童生徒及び保護者を対象に依存症予防教育を推進
- ◇幼児教育総合プロジェクト 8,902 (11,261)
幼児教育と小学校教育の円滑な接続のため、小学校就学までに育てたい具体的な子供の姿を示し、成長に応じた切れ目のない取組を推進
- ◇高等教育機関の充実 30.4億円 (4.4億円)
和歌山県立医科大学薬学部(2021年4月開設予定)及び宝塚医療大学和歌山保健医療学部(仮称)(2020年4月開設予定)の開設に向けた取組を推進

1 ひとを育む

◇新規・拡充
◇継続

・金額単位のないものは千円単位
・()内は昨年度当初予算額

ひと

つばと

いのち

くらし

地域

みんなが活躍できる社会づくり

1. 誰もが働きやすく、多様な人生を楽しめる社会づくり

- ◇社会人を対象とした学び直し講座の開設 15,557 (-) P8
年齢、国籍に関係なく、学べる機会を提供するため、定時制・通信制高校に社会人を対象とした「学び直し講座」を新たに開設
- ◇女性や子育て世代が活躍できる社会づくり【再掲】6,601 (7,034)
「女性活躍企業同盟」「結婚・子育て応援企業同盟」のさらなる発展を図るとともに、働きやすい職場環境づくりに向けた取組を推進
- ◇和歌山再就職支援「就活サイクル」プロジェクト 35,677 (31,241)
2月を強化月間とする本県独自の「就活サイクル」をさらに活性化させるため、国が新設する全国サイトを活用した情報発信でマッチング支援を強化
- ◇わかやま元気シニア生きがいバンク 9,734 (9,537)
80歳現役社会を実現するため、社会参加を希望する高齢者と活用したい団体を登録する「わかやま元気シニア生きがいバンク」の活動を強化

2. 共に支え合う地域社会づくり

- ◇ねんりんピック・ふるさと誕生150年に向けた花いっぱい運動 14,667 (-)
ねんりんピック・ふるさと誕生150年に向け、おもてなしの心で来県者を迎えるため、県民総参加による花いっぱい運動を推進

3. 健康で心豊かにすごせる社会づくり

- ◇健康長寿わかやま県民運動推進 8,000 (13,199) P47
「健康長寿日本一わかやま」を実現するため、関係機関が連携して効果的に施策を実施することで健康づくりを強力に推進

- ◇「ねんりんピック紀の国わかやま2019」などを通じた生涯スポーツの推進 12.3億円 (1.3億円) P9

「ねんりんピック紀の国わかやま2019」や「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」等を通じて、生涯スポーツを推進

- ◇わかやまスケートパーク（仮称）整備 50,666 (-)
スケートボードの競技力向上や競技者の裾野の拡大のため、雑賀崎浜球場内にスケートパークを整備

- ◇和歌山の文化力向上 137,963 (93,436) P10
2021年度の国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭、全国高等学校総合文化祭に向けて、文化芸術に親しむ機会を創出するとともに、文化芸術活動に参加する機運を醸成

- ◇南葵音楽文庫グランドオープン記念 79,096 (45,046) P11
2万点に及ぶ膨大な資料の整理・評価を終えてグランドオープンすることを記念し、コンサートや企画展を開催するとともに関連書籍を出版

4. 人権尊重社会の実現

- ◇インターネット上の人権侵害対策 6,000 (-)
インターネット上の人権侵害を防止するための啓発等を行うとともに、差別的な情報のモニタリングを実施
- ◇社会人を対象とした学び直し講座の開設【再掲】15,557 (-) P8
年齢、国籍に関係なく、学べる機会を提供するため、定時制・通信制高校に社会人を対象とした「学び直し講座」を新たに開設

保育料等の無償化・在宅育児支援

平成31年度：36.2億円
(30.1億円)

国制度の幼児教育無償化に加えて、多子世帯を対象とした保育料等の無償化や在宅育児世帯への支援などの取組を推進

保育料等の無償化

- ◆本県では、従前から多子世帯への保育料等の無償化を実施
 - H20 保育所入所の0～2歳児(第3子以降)
 - H28 対象を3～5歳に拡大、幼稚園等を対象に追加(第3子以降)
 - H30 年収約360万円未満の第2子を対象に追加

◆国制度により2019年10月から保育料無償化の対象が拡大

- ① 3～5歳 第1子から 全ての子供
- ② 0～2歳 第1子から 住民税非課税世帯の子供
(年収約270万円未満)
- ③ 保育料に含まれていた3～5歳の給食費(副食費)が実費負担化



②0～2歳への支援が不十分

多子世帯への経済的支援という観点から、市町村とともに
第2子以降の保育料等の無償化を引き続き実施

対象世帯：〔第2子〕年収約360万円未満まで
〔第3子以降〕所得制限なし

③保育料無償化の対象世帯に新たな負担が発生

制度変更が子育て世帯の不利益とならないよう、**給食費への支援のあり方を、総合的な視点で市町村とともに検討**

在宅育児支援

- ◆第2子以降の0歳児を在宅で育てる家庭を支援
 - ・支給額：150千円(15千円/月×10ヶ月)
 - ※県の助成は市町村の上乗せ助成の有無にかかわらず実施
 - ・対象世帯：〔第2子〕年収約360万円未満まで
〔第3子以降〕所得制限なし

合計特殊出生率
2.0達成へ






きのくにICT教育

平成31年度：181,248千円
 (54,231千円)

新学習指導要領に先行し、県独自のカリキュラムによるプログラミング教育を
 県内すべての学校で実施

学年に応じたICT教育 **本格実施**

公立学校での授業〔小・中・高校・特別支援学校〕

	実施内容	学ぶためのツール等
小学校	「プログラミングを体験し、プログラミング的思考を育む」(5、6年生)	 ロボット教材 (意図する動きの組立て)
中学校	「プログラミングを学習し、課題解決の体験をする」(3年間)	センサー等を活用した課題解決の プログラミング テキスト型プログラミング言語への移行 
高校	「プログラミングを活用し、課題解決力を身につける」	テキスト型プログラミング言語 (スマホアプリ開発) 

より
 高度に

企業等と連携したICT教育

高度なプログラミング教育

中学校・高校のパソコンクラブに県内ICT企業等から指導者(システムエンジニアなど)を派遣

〔指導内容〕

- ▶ 高度なプログラミング言語の習得
- ▶ 動作制御プログラム、スマホアプリ、3Dゲーム開発 など



様々な課題を発見・解決できる、情報活用能力のある人材を育成

ICTを活用した不登校児童生徒への学習支援 (学びのセーフティネット事業)

平成31年度：42,615千円 **新規**

不登校児童生徒の学校復帰と進路選択の基盤となる学力が身につくよう、ICTを活用した学習支援を実施

ICTを活用した学習支援

- 児童生徒の**学習内容の定着度や興味関心等に
応じた学習支援システム（デジタル教材）の導入**
学習の「進捗状況」や「つまずき」を把握・分析
・タブレットPC等を自宅や適応指導教室※等で活用

訪問支援員による支援

- 長期にわたり登校できていない、自宅に閉じこもる可能性がある児童生徒を対象に、**定期的に家庭訪問を実施**
・適応指導教室※を設置している市町に配置



※適応指導教室：不登校になった子供の集団生活への適応、基礎学力の補充等のための相談・適応指導(学習指導を含む)を行う場

社会人を対象とした学び直し講座の開設 (学びのセーフティネット事業)

平成31年度：15,557千円 **新規**

年齢、国籍に関係なく、学べる機会を提供するため、定時制・通信制高校に社会人を対象とした「学び直し講座」を新たに開設

日常生活に必要な、よみかきや日本語を学べる講座を開設

(講座名)

「よみかき・生活」「日本語・生活」

義務教育で学習する国語、数学、英語の講座を開設

(講座名)

「基礎国語」「基礎数学」「基礎英語」

【対象者】

義務教育未修了者、中途退学者、日本語支援が必要な人(在留外国人のうち「日本人の配偶者等」「定住者」など)、その他学び直しを希望する社会人



「学び直し」を希望する人に学習機会を提供

「ねんりんピック紀の国わかやま2019」 などを通じた生涯スポーツの推進

平成31年度：12.3億円
(1.3億円)

「ねんりんピック紀の国わかやま2019」や「ワールドマスターズゲームズ2021関西」等を通じて、生涯スポーツを推進

2019

第32回 全国健康福祉祭和歌山大会 (ねんりんピック紀の国わかやま2019)

2019年11月9日～12日

60歳以上の方々を中心とした選手など、約1万人が全国から参加する健康と福祉の総合的な祭典

総合開会式、閉会式

和歌山の魅力を発信するとともに、県民のおもてなしの心を伝える

交流大会

スポーツ交流(10種)、文化交流(5種)

ふれあいスポーツ交流(12種)

関連イベント

美術展、音楽文化祭、地域文化の伝承、健康と食のフェスタ



2021

ワールドマスターズゲームズ 2021関西

2021年5月14日～30日

概ね30歳以上のスポーツ愛好者を対象とした生涯スポーツの国際総合競技大会

アジア地域で初開催

35競技、59種目(和歌山県は5競技、7種目)



生涯スポーツの振興



ねんりんピック富山2018総合開会式

生涯スポーツを広め、楽しむ機会を充実

- ① 体力や目的に応じて参加できるマスターズスポーツ体験会の開催
- ② 未経験者が気軽に参加できるスポーツ体験 (パンダRUNなど)

和歌山の文化力向上

平成31年度：137,963千円
(93,436千円)

紀の国わかやま文化祭2021、紀の国わかやま総文2021の開催に向けて、文化芸術に親しむ機会を創出するとともに、文化芸術活動に参加する機運を醸成



〈おでかけ美術館〉 新規

芸術に親しむ機会が少ない地域で、美術館が出張して若手作家の展覧会とワークショップを開催

おでかけ美術館



次は美術館へ

(開催場所)
2019年 紀南地域
2020年 紀中地域
2021年 紀北地域



〈県立近代美術館〉
3年連続で大規模展覧会を開催

〈文化振興事業委託事業〉

国文祭に向け、県内の文化芸術活動を促進し、優れた芸術に触れ合う機会を充実

・伝統文化体験イベント、アートワークショップの開催など

総文祭に向け、中学生・高校生への周知・意識の向上

文化芸術の振興

南葵音楽文庫グランドオープン記念

平成31年度：79,096千円
(45,046千円)

2万点に及ぶ膨大な資料の整理・評価を終えてグランドオープンすることを記念し、コンサートや企画展を開催するとともに関連書籍を出版

① 読売日本交響楽団和歌山特別公演を開催

② 序曲《徳川頼貞》（吹奏楽版）音源を制作・配布

2018年度に楽譜を制作した「序曲《徳川頼貞》（吹奏楽版）」の生演奏音源CDを中学校・高校・民間団体等に配布、インターネットでも配信

③ 紀州徳川家を顕彰するシンポジウムを開催

首都圏で、紀州徳川家400周年を記念し紀州徳川家と南葵音楽文庫を顕彰するシンポジウムを開催（読売グループと協力）

④ 「南葵音楽文庫案内」「薈庭楽話（わいていがくわ）」※1 「徳川頼貞侯の横顔」※2の三部作を記念出版

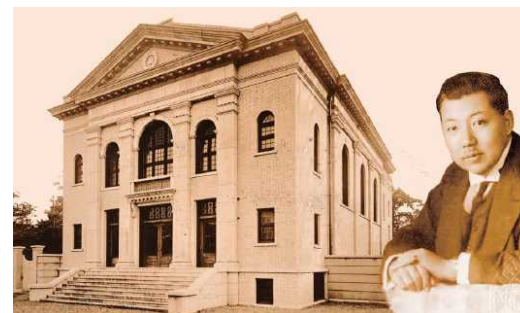
※1 徳川頼貞侯の音楽に捧げた半生記

※2 徳川頼貞侯の側近が残した回想録

⑤ 企画展「南葵音楽文庫の至宝」を開催（県立博物館）



2017.12 和歌山で約1世紀ぶりに再演された序曲《徳川頼貞》



南葵楽堂と徳川頼貞(1892-1954)



頼貞著 薈庭楽話
(わいていがくわ)

南葵音楽文庫とは・・・

紀州徳川家第16代当主徳川頼貞侯が収集した西洋音楽関連資料コレクション（楽譜、書簡、書籍の約2万点）
公益財団法人読売日本交響楽団から寄託